

令和元年度浜田市決算状況をお知らせします

令和元年度の一般会計決算状況は、歳入決算額が398億1,082万円（対前年度比3.4%減）、歳出決算額が392億1,887万円（対前年度比3.4%減）、翌年度へ繰り越す財源3,293万円を除いた実質収支で5億5,902万円の剰余金が生じました。少子高齢化の影響により、引き続き高い水準で社会保障関係経費（民生費）が推移しており厳しい財政運営となっています。今後も行財政改革実施計画を着実に推進し、持続可能な財政体質の確立に努める必要があります。

歳出総額 392億1,887万円

区分 決算額	具体的な内容
総務費 54億8,492万円	庁舎の管理・徴税・地域振興などに使いました。
民生費 108億5,767万円	子育て支援・高齢者や障がいのある人への支援・生活保護などに使いました。
衛生費 32億1,948万円	ごみ処理や火葬場の維持・病気の予防・環境保全などに使いました。
農林水産業費 42億3,928万円	農業や林業・漁業の振興などに使いました。
商工費 8億5,431万円	商業や工業・観光の振興・企業誘致などに使いました。
土木費 31億4,954万円	道路や河川・公園・住宅の整備などに使いました。
消防費 12億8,877万円	消火活動・救急救助などに使いました。
教育費 30億9,872万円	小中学校・幼稚園・公民館の運営・文化財保護・生涯学習などに使いました。
公債費 61億3,532万円	借金の返済に使いました。
その他 8億9,086万円	議会の運営・災害復旧・勤労青少年ホームの運営などに使いました。

令和元年度に実施した事業



浜田開府400年記念イベント事業
(事業費2,453万円)



高度衛生管理型荷捌所整備事業
(事業費19億4,589万円)

歳入歳出差引額 5億9,195万円

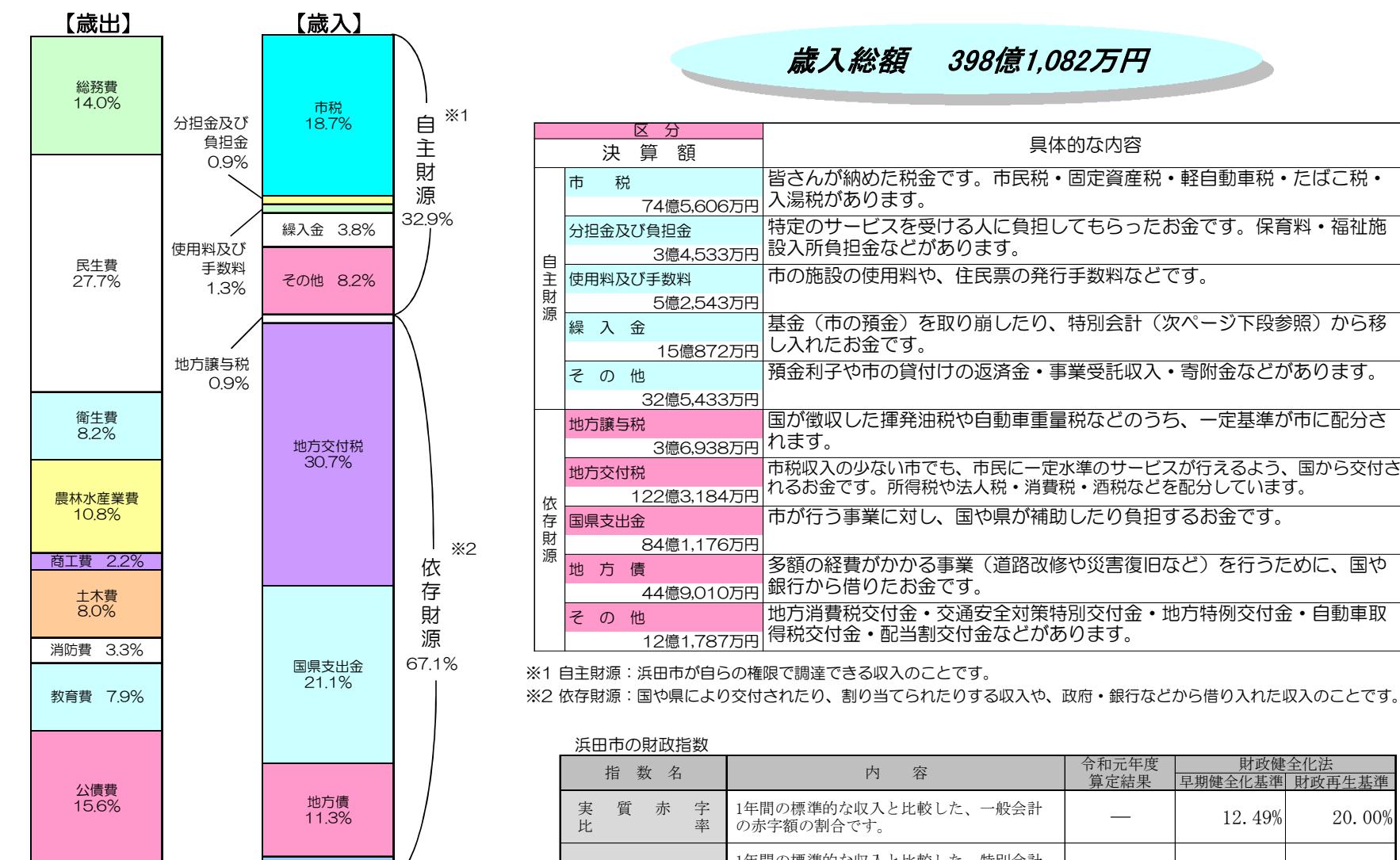
【内訳】

- 翌年度繰越金 3,293万円…令和2年度に延長して行う事業に充てられます。
- 剩 余 金 5億5,902万円…「財政調整基金」に積み立てるほか翌年度の自主財源として活用します。

浜田市の会計には、一般会計のほか、特定の収入で支出を賄う特別会計があります。また、地方公営企業法の適用を受け、独立採算制を原則とした水道事業、工業用水道事業の公営企業会計があります。

■公営企業会計 (単位:千円)

会計名	歳入	歳出
水道事業	収益的収支 2,137,449	1,844,847
	資本的収支 768,855	1,426,810
工業用水道事業	収益的収支 128,192	99,386
	資本的収支 2,574	207,396



※1 自主財源：浜田市が自らの権限で調達できる収入のことです。

※2 依存財源：国や県により交付されたり、割り当てられたりする収入や、政府・銀行などから借り入れた収入のことです。

浜田市の財政指数

指 数 名	内 容	令和元年度 算定結果	
		早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字率	1年間の標準的な収入と比較した、一般会計の赤字額の割合です。	—	12.49% 20.00%
連結実質赤字率	1年間の標準的な収入と比較した、特別会計や公営企業会計を含む全ての会計を合算した赤字額の割合です。	—	17.49% 30.00%
実質公債費率 (3か年平均)	1年間の標準的な収入と比較した、一般会計が負担する借金などの返済額の割合です。	10.9%	25.0% 35.0%
将来負担率	1年間の標準的な収入と比較した、将来一般会計が返済する借金などの負担割合です。	54.6%	350.0% —

浜田さん家の1か月分の家計簿を見てみましょう

※決算額（一般会計）を1万分の1に縮小し、さらに12分の1にして1か月分の家計簿風にしてみると…

支 出	市 の 性 質 別 区 分	金 額
食 費	人件費	4万9千円
光熱水費・日用雑貨代	物件費	3万4千円
医療費・保育料など	扶助費	5万8千円
ローンの返済金	公費費	5万1千円
子どもへの仕送り	繰出金	3万円
家の増築費・新車購入	普通建設費・災害復旧費	5万5千円
町内会費・ご祝儀など	補助費など	3万7千円
定期預金	積立金	8千円
家や車の修理代・友人	維持修繕費・貸付金・	4千円
へ貸したお金	投資及び出資金	
	支 出 合 計	32万6千円

收 入	市 の 性 質 別 区 分	金 額
給 料	市 稅	6万2千円
家賃収入	使用料及び手数料など	3万4千円
	繰入金	1万3千円
	地方交付税・地方譲与税など	11万5千円
親からの援助	国県支出金	7万円
兄弟からの援助	地方債	3万7千円
	収 入 合 計	33万1千円

収入合計から支出合計を差し引いた金額は、毎月約5千円、1年で約5万9千円となりました。そのうち、約3千円を翌年度に持つていき、残った約5万6千円を『財政調整基金』銀行などに預金しました。

